

キャラクター名
アイリーン・アクト・クラリス

プレイヤー名

種族	アルヴ	種族特徴	暗視/吸精		
生まれ	踊り子	性別	女	年齢	20
冒険者Lv	11	経歴			
経験点	9829				

技	13	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	3	11		27 + 2	4
体	5	敏捷度	9	14		36	6
		筋力	13	5		23 + 2	4
心	7	生命力	8	6		19	3
		知力	11	2		20 + 2	3
		精神力	5	9		21	3

技能	Lv.	技能	Lv.
プリースト/樹神ダリオン	11		
エンハンサー	6		
アルケミスト	4		
バトルダンサー	11		

戦闘特技			
舞い流し	bm35p		p
ルーンマスター	lB34 p		p
防具習熟A/非金属鎧	1-282p		p
斬り返し	1-286p		p
なぎ払い	1-288p		p
マルチアクション	1-292p		p
変幻自在	1-282p		p
足さばき	2-227p		p
魔力撃	1-292p		p
			p
			p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○
ブルライト	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
マッスルベアー	
キャッツアイ	
ガゼルフット	
ビートルスキン	
メディテーション	
スフィンクスノレッジ	
ヴォーパルウェボン	
クリティカルレイ	
バークメール	
パラライズミスト	

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	アラミドコート		5	1	2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					1
回避技能	バトルダンサー	合計値	18	3	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栄光なき螺旋のバランストペンジュラム・カスタム <small>なぎ払い時命中+1 カスタム+2 アビス強化でC値を下げた 一日一回行動時の自動成功を振りなおす</small>	2H	24	0	2d+ 16	9	15	44										
螺旋の傲慢の剣スベルピア <small>緋の王が所有していた魔剣の一振り</small>	2H	13	1	2d+ 2	10	1	23										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
10 m	38 m	114 m

回避	防護点
2d+ 18	3

HP
54

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/X	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 14	2d+ 14

MP
56

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	11	15			

装備品	説明
頭	ホーリーパロット
耳	聖印 神聖魔法行使時知力+2
顔	ブラッドクレイムの仮面
首	スマルティエの銀鈴
背中	ミラージュドレーブ
右手	叡智の腕輪
腰	アルケミーキット
足	ディスプレイサー・ガジェット
その他ウェポンホルダー	

装備品	説明
左手	怪力の腕輪
宗匠の腕輪	

その他メモ	自動失敗
戦士系 スイッチ効果「トドメの一撃」 一人称「私」二人称「あなた」口調「女性的。～かしら、～ね、～だわ、～わよ、～よ、などやや上品さがにじみ出た話し方」 かわいさと美しさが両立した美貌。Fカップのおっぱい。 アイリーンは「平和」アクト (Act) は「行動する」クラリスは「光輝く、鮮やかな」を意味する	チェック □□□□⑤ □□□□⑩ □□□□⑱ □□□□⑳ □□□□㉕ □□□□㉚ □□□□㉞
マカジャハット王国に生まれたアイリーンは幼い頃からアルヴであることが原因で迫害を受け続けてきた。(マカジャハット王国は穢れを持つ種族に対する差別意識を持つ人々もいまだにいる) そのため大通りを避け人目につかないように母(アルヴ)とひっそりと暮らしていた。アルヴ特有のマナへの飢えをしのぐために母は化粧をして限りなく見た目を人間に寄せた状態で娼館で働き、情事に紛れて吸精を行っていた。(暗い室内であれど眼球の黒さをごまかしきれないことも多くトラブルは絶えなかった) アイリーンはアルヴに理解のある娼館の店主の厚意によって母が勤務している間に限りベッドの下に潜み、母が吸精し終えて意識が朦朧とした客から吸精して生きながらえていた。しかしそんな生活も長くは続かなかった。アイリーンが15歳を迎えた頃(アルヴが成人したと認められる歳)母が病に倒れたのだ。母が娼	

